

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S25	施策名	各行事（市民まつり、古戦場桜まつり、成人式、児童館まつり等）の見直し
担当部課	くらし文化部生涯学習課	関係部課	

基本情報	第6次総合計画・基本目標	5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪
	行政改革指針・重点課題	1 経営改革の推進
	法定受託事務の有無	無
	その他（関係計画、要綱等）	有 長久手古戦場桜まつり交付金交付要綱
施策開始の背景、経緯等	平成25年度から市民による実行委員会の主催として開催しているが、事務局として職員が事務を行っていたり、開催日に職員の動員による時間外勤務が発生していたりすることから、運営の見直しによる職員人件費の縮減や財源の確保を行う。	

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 長久手古戦場桜まつりにおける運営の見直し、収入の検討を行う。実行委員会による開催が実現しているが、事務局として職員が事務を行っており、開催日の職員の動員による時間外勤務も発生しているため、開催日当日の運営に携わる市民の人数をさらに引き上げていく。また、自主財源の確保に務める。
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 長久手古戦場桜まつり事業
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 事業費の縮減、財源の確保、職員人件費の縮減

目標・成果推移等①	施策に係る取組①	開催当日運営に携わる市民の人数の引き上げ				
		R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	中期 (おおよそ3年後)	長期 (おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		開催日当日の運営に携わる市民の人数 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったため、実績なし。	開催当日運営に携わる市民の人数	開催当日運営に携わる市民の人数	開催当日運営に携わる市民の人数	開催当日運営に携わる市民の人数
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
		負担金、補助金及び交付金 0千円	負担金、補助金及び交付金 2,550千円	負担金、補助金及び交付金 2,550千円	負担金、補助金及び交付金 2,550千円	負担金、補助金及び交付金 2,550千円
			損害保険料 33千円	損害保険料 33千円	損害保険料 33千円	損害保険料 33千円
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
		(延べ) 0 人	(延べ) 74 人	(延べ) 80 人	(延べ) 85 人	(延べ) 90 人

目標・成果推移等②	施策に係る取組②	自主財源の確保				
		R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	中期 (おおよそ3年後)	長期 (おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		実行委員会において検討	協賛金を集めることはできなかったが、スタンプラリーの景品を実行委員会加盟団体から提供いただき事業費の縮減につながった。	出店料・協賛金の徴集 目標額 35,000円	出店料・協賛金の徴集 目標額 45,000円	出店料・協賛金の徴集 目標額 60,000円
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
		(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人

活動状況		(活動のエピソード、コメント、特記事項など)
	活動エピソード	実行委員会の主体性をさらに高めるため、会議では、自分たちで何ができるか、また、課題と解決策を検討した。

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのが、改善が必要なことなど) 市からの交付金のみが実行委員会の活動財源となっているため、新しいアイデアに挑戦するには、自主財源を確保し、また、職員人件費を削減するため、運営に携わる市民の人数を引き上げ、当日に出動する職員数を減らす必要がある。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 令和5年長久手古戦場桜まつりでは、令和4年度の準備段階において実行委員会の加盟団体から板チョコ43枚、付箋セット600セット、ポーチ300個、シール300枚、クリアファイル300枚をスタンプラリーの景品として提供があり、事業費の縮減につながることができた。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 長久手古戦場桜まつりにおける運営の見直し、自主財源確保の検討を行うことにより、市の人的、財政的負担を軽減することができる。
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 自主財源を確保しつつ、実行委員会が主体となって、より一層の市民の参画を呼びかけ、多くの来場者が訪れる魅力あるまつりを実施していく。桜の開花時期が早まっているため、令和5年から名称を長久手古戦場まつりに変更する。令和6、7年については、古戦場公園再整備の工事着手に伴い、古戦場公園が会場として使用出来なくなる。そのため、古戦場公園以外の場所での開催を検討する必要がある。再整備後は、実行委員会メンバーと協議し、新しい施設の活用も含めて事業の在り方について、判断していく。